

令和 8 年熊本地震に係る
第 20 回政府非常災害現地対策本部会議
第 27 回災害対策本部会議 議事録

日時：令和 8 年 8 月 25 日（火） 16：00～

会場：県庁防災センター 2 階 災害対策本部会議室

1 開会

2 議事

（1）今後の気象の見通し

- ・別紙「気象台資料」により説明（熊本地方気象台）

（2）県からの報告

- ・別紙「各部説明資料」により説明（各部長等）

（3）国からの報告

- ・別紙「国資料」により説明（農水省、経産省、国交省、防衛省、環境省）

3 災害対策本部長（木村知事）からのコメント

別紙「本部長（知事）コメント」のとおり

4 現地対策本部長（古川政務官）からのコメント

8 月 22 日に熊本へ戻り、週末は木原官房長官及び小泉防衛大臣の視察に同行したほか、昨日と本日も被災地を視察しました。自治会の方々が中心となって運営している避難所の状況や、猛暑の中で作業員の方々がチームを組んで被災井戸の洗浄作業を進めている状況を確認しました。また、八代共同魚市場の被災状況も確認し、地元の新鮮な海産物供給のためにも今後の復興に取り組んで参りたい。

また、八代地域保健医療福祉調整現地本部における関係者の連携した取り組みや、宇城市の子供センター被災しながらも子どもに関する相談対応を続けている話を伺いました。国としてもサポートしていきたい。

警察については、避難者の多い地区や避難所等犯罪発生が懸念される地区を中心に約 950 台の防犯カメラを設置しています。私も全国から集まった多くの警察官が警戒活動や防犯活動に従事している姿を確認しました。被災された皆様は避難生活を送る中で防犯面に不安を感じることもあるかと思いま

すが、昼夜を問わず全国の警察が一丸となって被災地の治安を守っていますので、安心していただきたい。

交通・運輸関係については、JR 鹿児島本線の代行輸送が 26 日から宇土駅から八代駅間でも開始される予定であり、肥薩おれんじ鉄道を含めた在来線の普通列車区間全体で代替輸送が確保されることとなります。八代港では 24 日に震災後初めて大型穀物運搬船が入港しました。引き続き、物流拠点として港湾利用の本格化に向けて早期復旧を進めて参ります。

水道本管の復旧に伴い、宅内配管の修繕需要が高まることが見込まれるため、住民からの問い合わせを一元的に受け付けるコールセンターを 26 日に国土交通省において開設します。ぜひ活用していただきたい。

また、農林水産業については、昨年の水害に続き被災したいぐさ生産者などの精神的な負担も大きいと聞いています。日本文化を支える生産者の皆様が営農を断念することがないように、国としても支援していきたい。

最後に、各省庁の専門性を活かした支援に加え、事業者やボランティア団体等との連携が被災自治体を支えることが極めて重要であります。引き続き被災地の声にしっかり耳を傾け、『できることはすべてやる』との決意のもと、被災者の生活再建となりわいの再建に全力で取り組んでいきます。